

幼小中連携学校保健安全委員会が行われました！

10月27日（木）、附属坂出中学校武道館にて幼小中連携の学校保健安全委員会が行われ、保護者の方19名、学校医や学校カウンセラーの先生3名、教員6名が参加しました。今回は、ネット支援員の十河靖典先生をお迎えし、次のようなテーマで研修しました。

子どもと携帯電話の向き合い方 — 家庭・学園全体でルールを作ろう —

今は、携帯電話だけでなく、ゲーム機や音楽プレーヤーの通信機能を使って、子ども同士が頻繁にやりとりをするようになってきました。ネットを通じたいじめが問題になっており、最近では大人とのやりとりで子どもの写真が流出したり、子どもが有害情報を見たりする事案が増えています。

講師の十河先生からは、「約4割の会社が採用の際、TwitterやFacebook等のソーシャルネットワークシステム（SNS）をチェックしている」「親のSNSを子どもが見

る時代になった」「一度流出した画像は元に戻らず、知人によって個人も特定されてしまうので、子どもがネットと関わり始めた今、きちんと管理するルールづくりが必要」とのことでした。お子さんがどんなやりとりをしているか、どんな画像を保存しているか、保護者の方はご存知でしょうか。それを見せられるような関係づくりが大事であり、十河先生からは、「今日家に帰ったら、ぜひお子さんとハグをしてください。そして、『写真を見せて』と言ってください。」との話もありました。

学校カウンセラーの堀間先生からは、「心が安定するよう守る機能の一つに『同一化』がある。中学生くらいからは、自我同一性の確立が必要と言われており、昔はテレビからあこがれの対象を見つけて『同一化』を図っていた。最近はネット上から見つけている。」との話がありました。

また、学校医の佐藤先生からは、「診察中に携帯が鳴ると、それに出る人さえいる。現代ではネットを無にすること、ネットから逃げることはできないので、保護者の方が勉強した上で、お子さんを指導することが大切である。」「同じ1時間のネットでのやりとりを、自分の部屋ですのと家族みんながいる部屋ですのとでは、内容が大きく違ってくる。」とのことでした。

グループでの話し合いでは、家庭でネット利用をする際のルールづくり、子どもとの関わり方等について意見を交わしました。互いに質問したり、悩みを相談したりしながら話は尽きることなく、活発なやりとりが行われました。

このように、連絡進学をする3校園が合同で保健安全委員会を行うことで、保護者の方が見通しをもって子どもの心や体について考え、話し合ったり、アドバイスを聞いたりすることができそうです。来年度もこの幼小中連携学校保健安全委員会を行う予定ですので、その際はぜひご参加ください。

お子さんの携帯電話の
使い方、大丈夫ですか？

